

幸町二丁目地区 区民対話会

- ◆日時:平成27年2月14日(土)
13時30分～15時00分
- ◆場所:幸老人センター

1

【テーマ】

地域の将来像と担い手
～持続可能な地域コミュニティの構築～

2

地域コミュニティとは

日ごろの生活や活動を通じて作られていく、
地域の住民や団体どうしのつながりや
顔見知りの関係



自分たちの住んでいる地域を、
みんなの力で自主的によくしていく

3

地域コミュニティの必要性

環境の変化

- 少子高齢化＋単身世帯の増加、子どもの安全、
防災防犯
⇒「地域」で支えていく必要のある世帯の増加
- 東日本大震災
⇒日頃からの身近な人同士の交流の大切さの
再認識



地域コミュニティの必要性は以前よりも
高まっている

4

地域コミュニティの現状

身近なところで増加する社会問題

- 高齢者の所在不明問題
(消えた高齢者)
- 高齢者の孤立死 年間1万5千人
- 認知症行方不明者 年間1万人
- 児童・高齢者虐待…

地域活動の低下

- 町内会、自治会の加入率低下
- 新住民、若い世代等の地域活動への参加が低調
- 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった自助・共助機能の低下

地域コミュニティの力が弱まっている
地域の住民同士のつながりが希薄化 ⇒ 無縁社会

地域コミュニティの力はなぜ弱まったか

考えられる理由

- 少子高齢化、人口減少
- コミュニティ活動のきっかけとなる子どもの減少
- 価値観やライフスタイルの多様化
- 地域への愛着・帰属意識の低下
- 昼間に地域にいないことによるかかわりの希薄化
- …

このままいくと...

- 特定の人だけが地域活動を行う
- 地域団体の役員のなり手がいない
- 役員の高齢化、固定化⇒負担が集中



- 役員の高齢化、少数化によるさらなる活動低下
- 役員が培ったノウハウが継承されない



地域コミュニティの継続が困難

今はよくても将来はない...

7

地域の目指す将来像を考えてみましょう

例えば...

世代を超えたつながりと幅広い連携により地域活動が充実するまち



- 高齢単身者と地域がつながる機会の増加、拡大
- 子育て世代、若い世代の地域活動への参加の拡大
- ボランティアや大学等と連携する地域活動、団体の増加

8

もう少し具体的に、理想の地域生活を想像してみましょう

例えば...

- どこでもいつでも「挨拶」がある
- 誰でも参加できる楽しいイベントがある
- まちの美化などみんなが活動する
- 災害時などのもしもの備えがある
- 安心の見守りや支え合いがある

→本日の意見交換で、みなさんの考えをお聞かせください

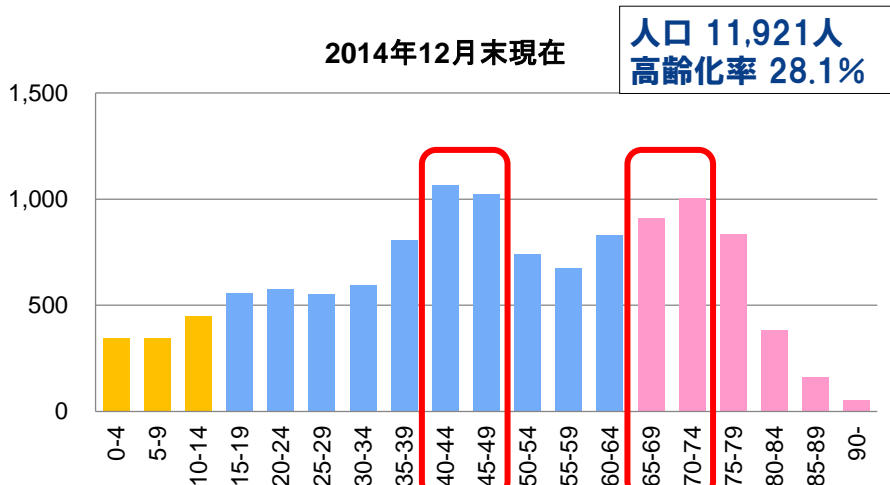
9

幸町二丁目地区の 現状

10

現在の人口構成

■ 40代と70歳前後の人口が多い



出典: 町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

11

これまでの人口の推移

■ 幸町二丁目は、美浜区の中で、過去10年の人口減少率が最も高い(▲18.5%)

美浜区内 過去10年の人口減少率の高い町丁
(人口100人未満の町丁を除く)

順位	町丁名	人口増減	増減率
1	幸町2丁目	▲2,755	▲18.5%
2	磯辺1丁目	▲364	▲16.4%
3	磯辺8丁目	▲127	▲16.4%
4	高洲2丁目	▲1,629	▲16.2%
5	高浜4丁目	▲777	▲16.2%

出典: 町丁別年齢別人口(千葉市統計課)
2004年3月末と2014年3月末の人口から作成

12

どの年齢層が減少しているか

- 子供(14歳以下)が最も減少し、高齢者(65歳以上)は増加
- 20代後半～30代前半と4歳以下の減少率が高く、若い子供をもつ子育て世帯が減っていると推測される
- 70代後半～80代が大幅増

幸町二丁目 過去10年
人口増減内訳(年齢3区分)

年齢層	人口増減	増減率
14歳以下	▲801	▲40%
15～64歳	▲3,113	▲29%
65歳以上	1,159	55%

減少率TOP3

年齢層	人口増減	増減率
30～34歳	▲986	▲60%
0～4歳	▲426	▲54%
25～29歳	▲650	▲52%

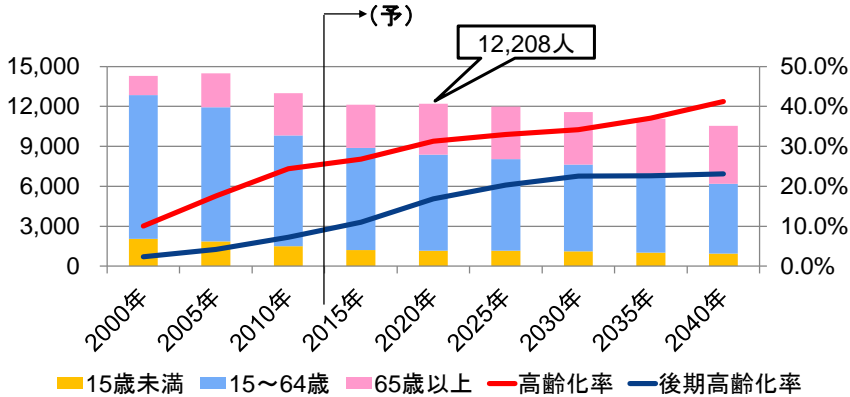
増加率TOP3

年齢層	人口増減	増減率
75～79歳	553	210%
80～84歳	192	144%
85～89歳	72	91%

13

将来推計人口・年齢別人口構成

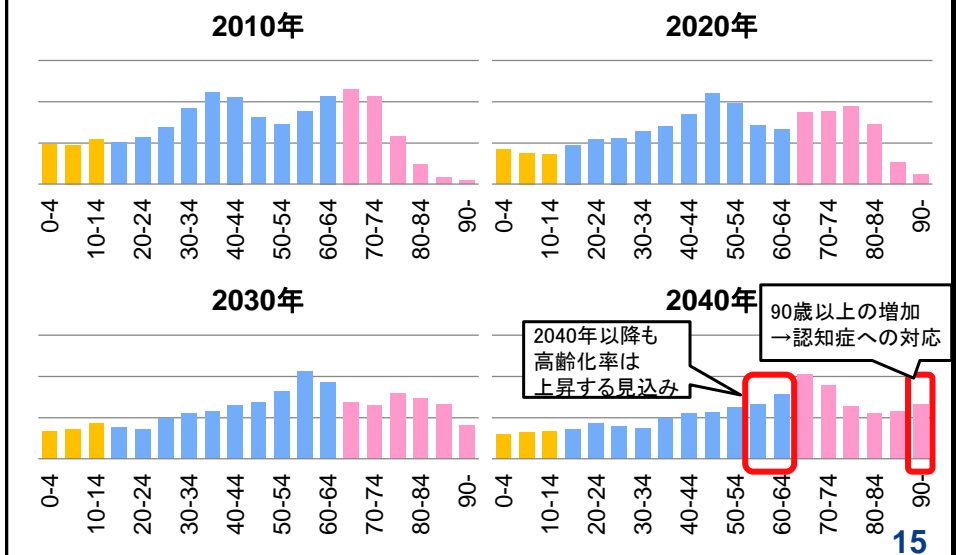
- 地区の人口は、25年間で12,000人から10,000人台へ減少
- 高齢化率は27%から一貫して増加し、25年後に40%超
- 後期高齢者(75歳以上)の占める割合は今後10年で2倍に



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

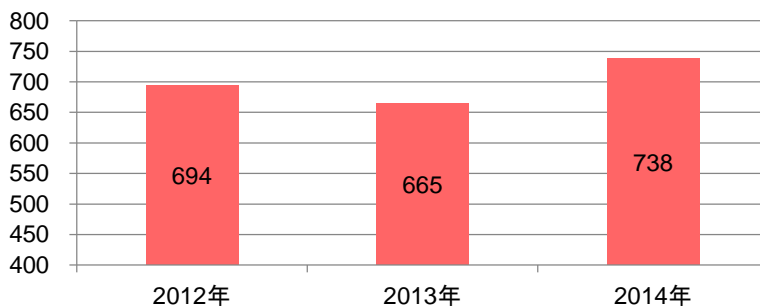
14

年齢別人口構成の将来予測



一人暮らし高齢者の数

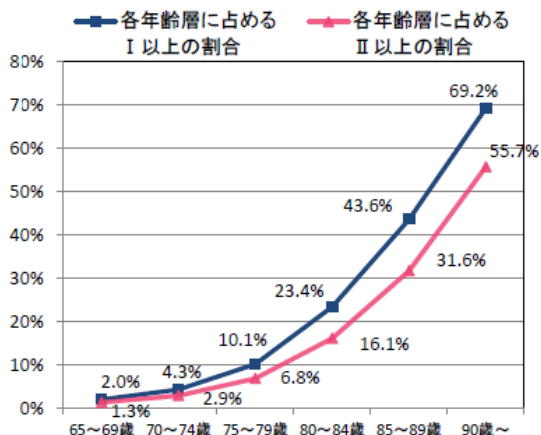
- 一人暮らし高齢者の数は2013年から2014年にかけて増加（平成25年12月以降にオープンした高齢者福祉総合施設の影響が考えられる）
- 高齢者の約5人に1人が一人暮らし（738人／3,350人）



出典：2012～2014年度高齢者実態調査（千葉市高齢福祉課）
2014年12月町丁別年齢別人口（千葉市統計課）

認知症高齢者の増加

■年齢が上がると、認知症の割合が急増



I、II は認知症高齢者の日常生活自立度

I：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

II：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

出典：2013年11月 要介護者数・認知症高齢者数等の分布調査(東京都)

17

■認知症高齢者の割合は増加を続ける

全国の「認知症高齢者の日常生活自立度」II 以上の高齢者数は2010年で280万人、高齢者の9.5%。

2025年には470万人、高齢者の12.8%となる見込み。

2. 将来推計

(単位:万人)

将来推計(年)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)
日常生活自立度 II 以上	280 9.5%	345 10.2%	410 11.3%	470 12.8%

※平成24年(2012)を推計すると、305万人となる。

※下段は65歳以上人口に対する比率

【算出方法】

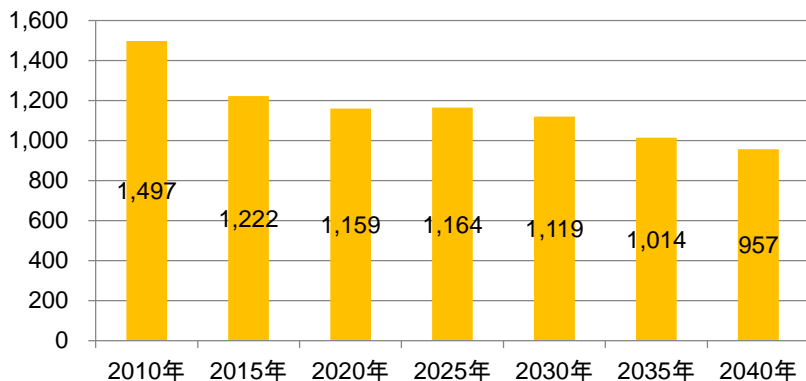
○将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所:H24.1推計。死亡中位出生中位)に、上記1の算出方法による平成22年9月の認知症高齢者割合を性別年齢階級別に乘じて推計した。

出典:「認知症高齢者の日常生活自立度」II 以上の高齢者数について
(厚生労働省)

18

子供の数の将来予測

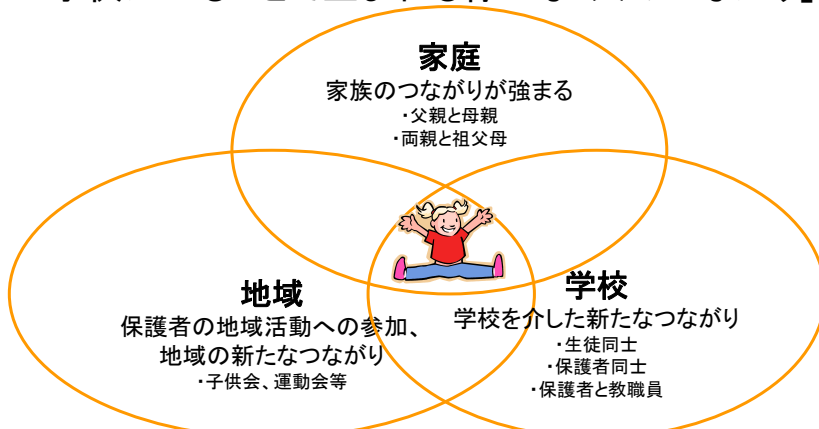
- 今後一貫して減少し、25年後には8割に
(近年急激に減少しており、予測をさらに下回る可能性もある)



出典: 2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

少子化が地域に及ぼす影響

子供がいることで生まれる様々な「人のつながり」

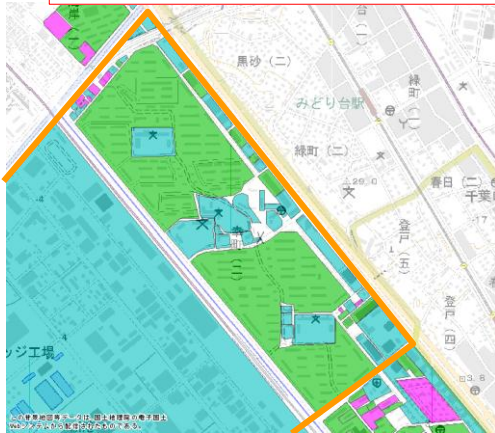


子供の減少＝つながりの減少

(地域コミュニティの弱体化)

土地利用

- 住宅は共同住宅が大部分を占める
- UR幸町団地(賃貸・約4,300戸)や幸町東住宅(分譲・780戸)などの大規模団地と、国道沿いの新しいマンション
- 新港や幸町の国道沿いには事業所が建ち並ぶ

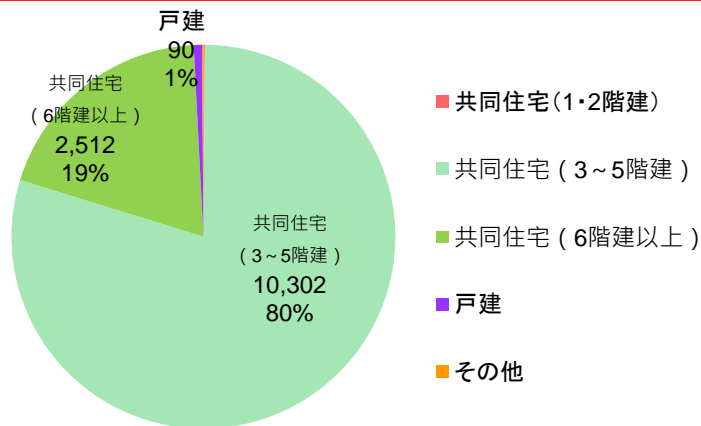


- 01 共同住宅
- 02 戸建
- 03 事業所等

出典：
2014年住宅地図をもとに
美浜区地域振興課作成

住宅形態別人口

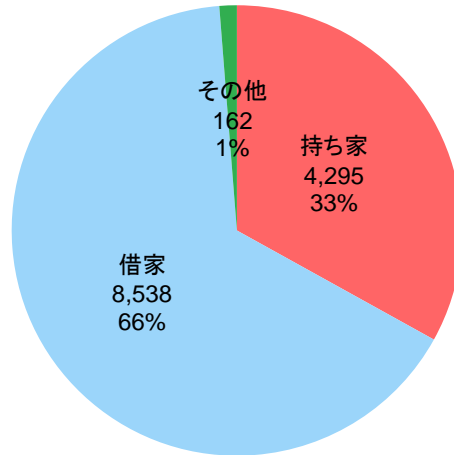
- 地区人口に占める割合は共同住宅が99%、戸建が1%
- 3~5階建の共同住宅が全体の8割を占める



出典:2010年国勢調査 住宅の建て方別主世帯人員

住宅所有別人口

- 借家の比率が他地区と比較して最も高く、2/3が借家



出典: 2010年国勢調査 住宅に住む一般世帯人員

街頭犯罪発生状況

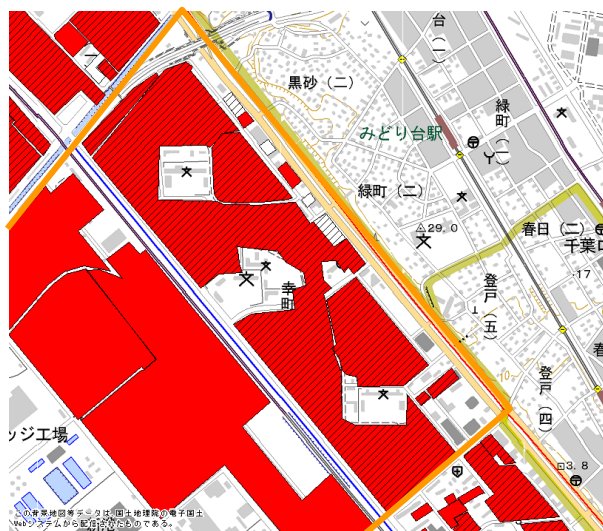
- 平成25年の重点街頭犯罪件数は幸町二丁目が66件、新港が51件(区全体: 1,035件)
- 幸町では自転車盗が2/3を占める(44件)
- 新港では自販機ねらいが最も多く(30件)、市内の同犯罪のうち2/3が新港で発生



出典: 平成25年町丁別重点街頭犯罪発生件数(千葉西警察署)

自治会結成状況

■ 自治会は事業所区域も含め広い範囲で結成済み



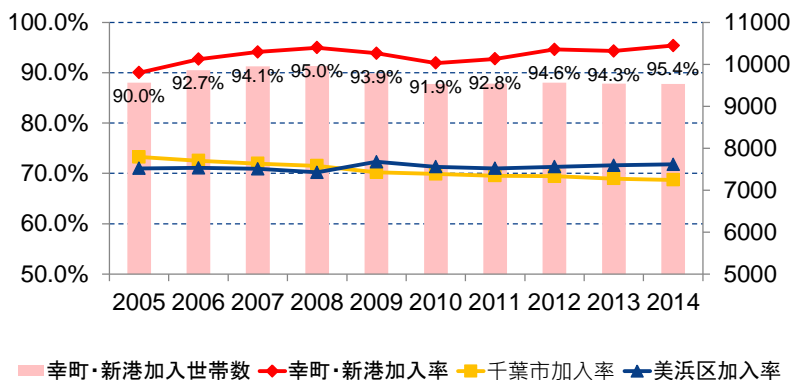
■ : 自治会結成区域
斜線: 自主防災組織結成区域

25

自治会加入率

※下表の数値には、幸町一丁目も含む

■ 市・美浜区平均が70%程度であるのに対し、幸町・新港は90%台と非常に高い



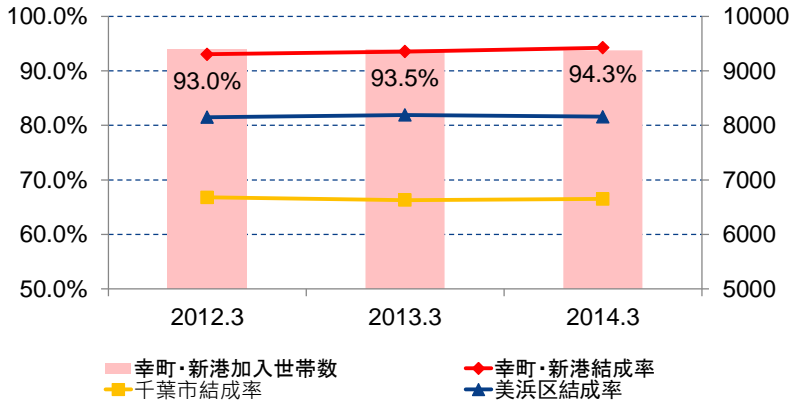
出典: 2005~2014年度町内自治会のしおり(千葉市町内自治会連絡協議会)
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

26

自主防災組織結成率

※下表の数値には、幸町一丁目も含む

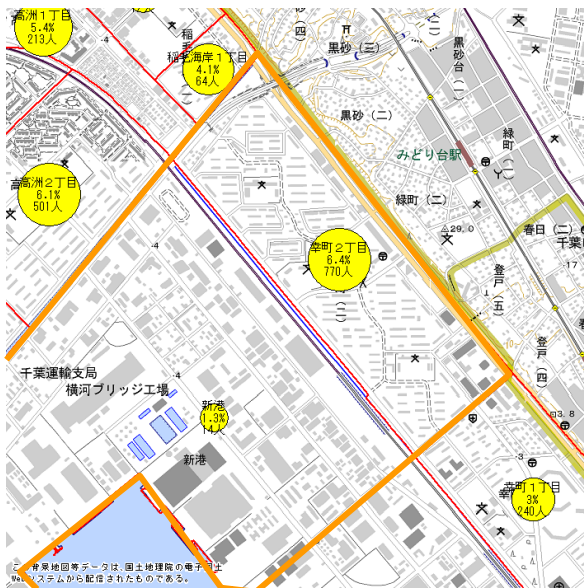
■ 自治会加入率と同様、幸町・新港は90%台と非常に高い



出典:2011~2013年度末自主防災組織結成状況(美浜区地域振興課)
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

外国人比率

■ 幸町2丁目は6.4%
市平均(3.9%)を大幅に
上回り、区内で3番目に
外国人比率が高い



出典:2014年10月末
町丁別人口集計表
(美浜区市民課)

地域団体役員数

※美浜区が役員を把握している5団体のみを掲載しています。

地域団体	役員数	うち 兼務者数
地区町内自治会連絡協議会	13	10
青少年育成委員会	53	20
スポーツ振興会	29	16
民生委員児童委員協議会	19	12
社会福祉協議会地区部会	10	8

兼務の状況

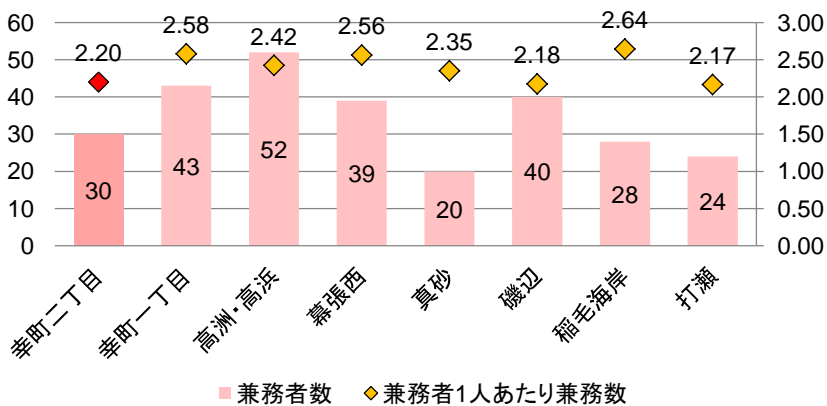
- ・兼務者数 30人(全役員88人)
- ・兼務者1人あたり兼務数 2.20
- ・最大兼務数 4(3人)

出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

29

地区別 地域団体役員員の兼務状況比較

- 兼務者数は中程度、兼務者1人あたり兼務数は低め
→他地区と比較して、比較的分担がなされている



出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

30

これまでの区連協・市連協要望

- 震災時等における新港地区の避難通路の整備（平成25～26年度）

回答：陸閘（防潮のための扉）が閉じた場合の緊急避難用スロープ設置等を県に要望しています。また、閉鎖の際は警察等と連携して避難誘導します。

- 幸町2丁目歩道橋 幸町側階段設置の改善（平成26年度）

回答：国道を管理する千葉国道事務所に検討を依頼し、現地状況や事故の状況等を踏まえ検討する旨の回答を得ました。

31

地域活動のご紹介

- ①防災に強い安全・安心の街づくり（第28地区連協・平成25年度）

目的

自治会未結成区域も含めた、地域の災害に対する意識向上・連携強化



H25.8
地域防災リーダーの避難所開設・運営訓練の学習



H25.9
住民参加の避難所開設・運営訓練

32

地域活動のご紹介

②幸町団地多文化共生 よりよい街づくり (千葉幸町団地自治会・平成26年度)

目的

日本人と外国人の良好な関係を構築



H26.7 七夕まつり、団地祭

H26.11 避難所開設運営訓練

H26.12 餅つき大会

H27.1 新春囲碁・将棋大会

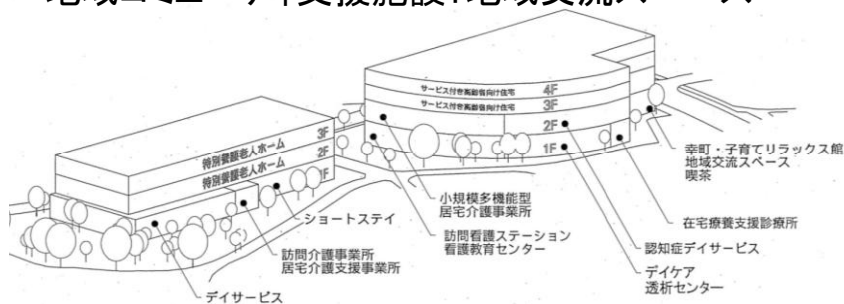
33

URの取組のご紹介

■ センター地区への複合施設誘致

「美浜しょうじゅタウン」(平成25年度オープン)

- ・ 高齢者向け施設: 特別養護老人ホーム、
高齢者向け住宅、デイサービス等
- ・ 子育て世帯向け施設: 子育てリラックス館
- ・ 地域コミュニティ支援施設: 地域交流スペース



34

地区の課題

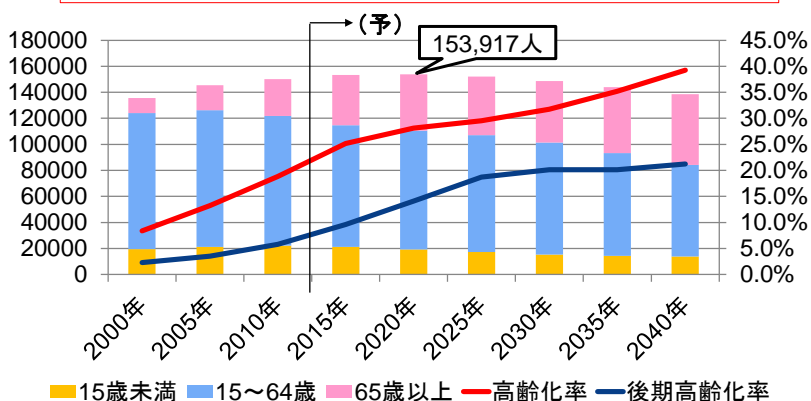
- 2040年以降も進む高齢化
- 人口が減少する中での地域活動継続
- 外国人も含めた住みよい環境づくり

35

【参考】

美浜区の将来推計人口・年齢別人口構成

- 区の人口は2020年の約154,000人をピークに減少
- 高齢化率は2010年の18.9%から2040年には39.3%に



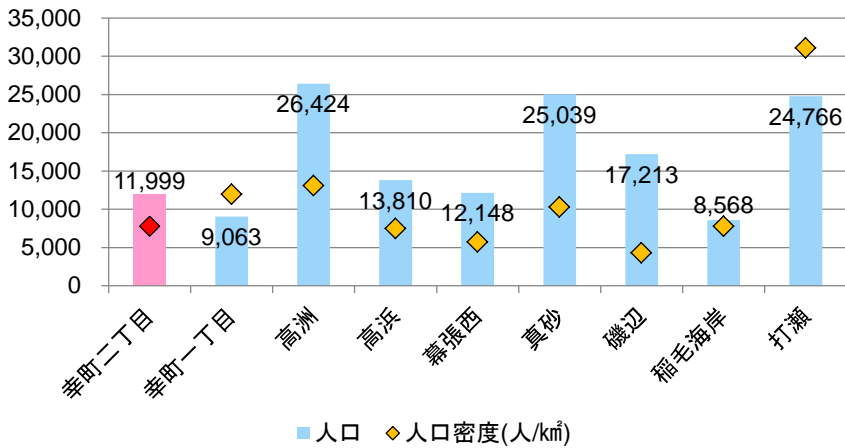
出典：2000年、2005年、2010年国勢調査
将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

36

【参考】

地区別 人口・人口密度

■ 地区人口、人口密度とも中程度

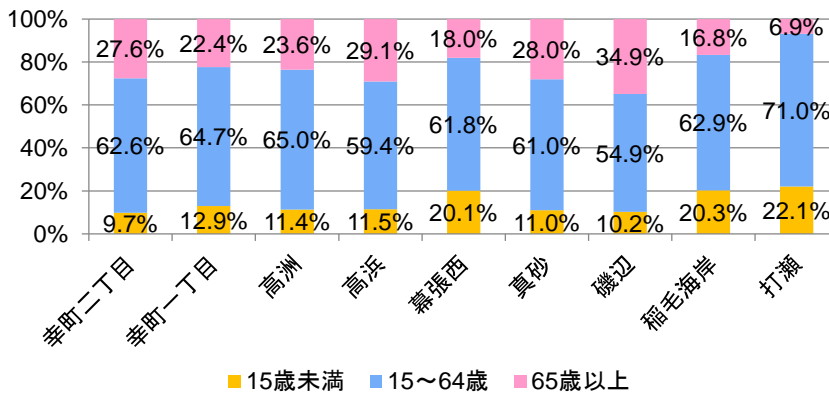


出典：2014年9月末町丁目別年齢別人口(千葉市統計課)

【参考】

地区別 年齢別人口構成比

■ 子供の比率が9地区中最も少ない

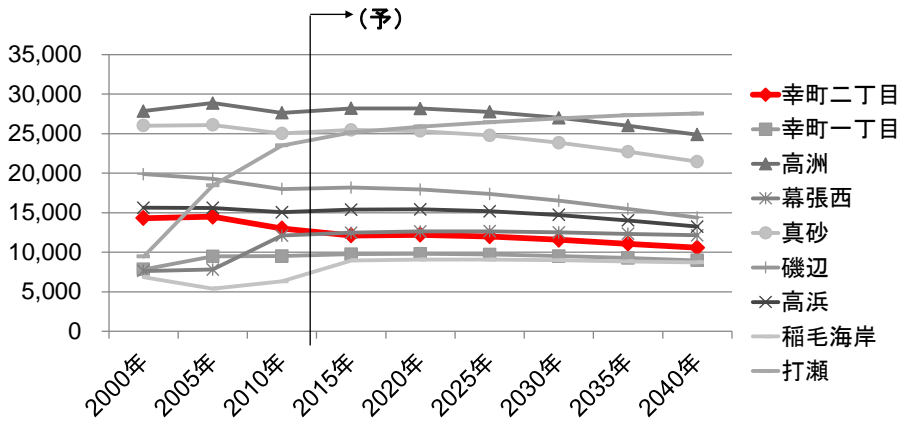


出典：2014年9月末町丁目別年齢別人口(千葉市統計課)

【参考】

地区別 将来推計人口

■ 人口は緩やかに減少していく



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)